

この1年間はコロナウイルスの影響を受けました。福祉科では色々なことを行ってきました。

＜出張！口加げんき体操＞(10~11月)

2年 川村 菜凜
(有家中出身)

私たちは、コロナ禍で外出の機会が減った高齢者の方のために考案した「口加げんき体操」を口之津町にある介護予防自主グループで披露しました。内容は、クーパー体操、簡単なレクリエーションを参加者の方と一緒に行うものです。私は、お本として前に立ちました。最初は緊張しましたが、参加者の方からみなさん笑顔で楽しそうにできて、嬉しかったです。



＜医療従事者の方へ応援メッセージ＞ 2年 田中 杏奈 (北有馬中出身)

私たちは、現在コロナ禍で患者さんのために一生懸命頑張っている医療従事者の方々へ向け応援メッセージを送ろうと動画を作成しました。その後、新聞記者の方から取材も受けました。また、他県の医療従事者の方が「動画を見るときも勇気もらった」「本当にありがとう」と感謝の気持ちを伝えることができて嬉しかったです。皆さんもコロナに気を付けて頑張ってください。福祉科で頑張っています😊



いつも最前線で私達を支えてくれてありがとうございます

2年

＜校内実習＞ 2年

佐伯 菜美
(南有馬中出身)

私たち、福祉科は島原半島内の施設との協力をいただき実習を行っています。しかし、昨年からの新型コロナウイルスの影響により施設での実習を行うことが難しくなり校内での実習も行いました。1、2年生合同で行うことで、2年生が1年生にアドバイスをしたり教えたりしながら行いました。特にバドミントンでは、1、2年生一緒に行うことで、2年生は教える力が身につく1年生は新たな知識を得ることに繋がりました。次回の実習に向けて更に成長していきたいです。



＜ふくしらぼ＞ 2年 渡邊 帆乃香 (深江中出身)

私たちは授業以外でさらに知識を得るために講師の先生をお招きしたり、実際に施設訪問を行ったりしました。今年は島原の障害者施設を4ヶ所訪れました。また、講師の方をお招きして様々な分野で活躍されている方に講話をしていただきました。普段の授業では学ぶことのできないことを楽しく学ぶことができました。例えば、口之津病院の理学療法士の方からは、「理学療法士と作業療法士の違い」を教えてくださいました。これから知識を得るためにふくしらぼを続けていきます。

